

発行所 鹿児島市鴨池新町1-7  
鹿児島県社会福祉センター内  
鹿児島県母子寡婦福祉連合会  
電話 0992-58-2984

発行人 キミ子  
編集 黒武者 玉子  
田中 周子  
橋上 フサ子  
木南 サル子  
蓮 敏子



県母連の動き  
1月24日 全国母子協理理事会  
1月25日 全国婦人の集い  
2月3日 若星表彰審査会  
2月18日 創立40周年記念大会  
3月2日 全国母子協理理事会  
3月3日 全国母子協評議員会  
3月11日 母子会だより編集委員会  
3月22日 評議員会  
3月30日 母子会だより第39号発行

## ゴールまで輝いて生きよう

### 全国母子寡婦福祉協議会

#### 会長 守田厚子

私、九十二歳です。曾孫も大きくなり、会の最初からかわつたのは、私一人だけになってしまいました。熊本で生まれ二歳の時父が日露戦争で亡くなりました。当時は母子家庭ということばはなかったと思います。私は、夫、息子二人が戦死で、北朝鮮から引き揚げました。東京に養母を迎えに行く途中、車窓から見た富士山は普通の山で、それはそれは美しいでした。「国破れて山河あり」という深い思いに打たれました。帰って来てすぐこれからどうして親子が生きて行くかというところで、子どもの顔を見るようにして、何んとかしななければという事で遺族

会をつくり、主たる目的は英霊の顕彰という事ではなかったのですが、子どもだけではなくて、お育てを行わなければならぬという事で亡くなった人、昭和二十五年三月、婦人運動家の山高しげりさんが中心となり、全国代表者会議を二百人が集まり開催しました。代表八人がGHQに行き、未亡人会という団体を結成する事の承認をお願いに行きました。すると、「ダメだ」ということで断わられてしまいました。「生活できない人は平等に、無差別に皆生活保護で救われる」というのが理由でした。しかし、話しを聞くうちに特定の人戦争未亡人

「母子福祉資金の貸付等に関する制度」が昭和二十七年に制定されましたが、当時、大蔵省は母子家庭は借りのお金を返すことが出来ないので、ということ貸付を渋ったのでした。当時七色の虹といひ、七種の貸付金があり、事業開始資金は五万円でした。次に母子相談員制度、母子福祉推進員(県で名称は連)四百名が充足しました。昭和三十四年、福祉年金が一万二千元(死別だけ)支給され、生別にもぜひとお願ひし児童扶養手当が昭和三十六年に制定されました。母子問題に取り組んだ人々は今ではもう、寡婦なので



## 歩みつづけて40年

### 理事長 黒武者 キミ子

冷たい風のなかに、日射しは日毎に伸びて参りました。きょう、創立四十年記念会場満席のご参集を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。鹿児島県の未亡人会は昭和二十九年に婦人会のなかの未亡人部として発足し、結成までには当時の県母子係長の矢留末子先生、婦人会長の黒江ヨネ先生、執印テル先生など有志の方々のご尽力があったと、お聞きしておられます。それから二十年を

市町村会長を中心として、雇用、子どもの教育、くらしのこころ等、忙しく活動してはいますが、忙しいということはないと、話し合っております。今、会員云々、九州のも大阪府、兵庫県、北海道、広島県に続く会員数です。一方、全国の仲間と手を取り、守田会長を先頭に「わが幸せはわが手で」を合い言葉に、昭和三十九年母子寡婦福祉法、昭和四十四年寡婦福祉資金貸付制度、五十六年に



「母子福祉資金の貸付等に関する制度」が昭和二十七年に制定されましたが、当時、大蔵省は母子家庭は借りのお金を返すことが出来ないので、ということ貸付を渋ったのでした。当時七色の虹といひ、七種の貸付金があり、事業開始資金は五万円でした。次に母子相談員制度、母子福祉推進員(県で名称は連)四百名が充足しました。昭和三十四年、福祉年金が一万二千元(死別だけ)支給され、生別にもぜひとお願ひし児童扶養手当が昭和三十六年に制定されました。母子問題に取り組んだ人々は今ではもう、寡婦なので

# 創立四十周年記念大会

## 平成六年二月十八日

### 鹿児島市民文化ホール

任いたし今日を迎えました。全国の会議に出席するように、先達のお話しを聞き、先達を痛感すると共に、乏しい財源のなかで基礎づくりをされた先輩の方の足跡が沁々とわかってきました。その後物販等をやり、自主運営の目途がつきましたので、婦人会が独立いたしました。時あたかも昭和四十九年、高度成長の頃となり、皆様のご理解を得て、母子寡婦福祉の予算を年々増額して頂きました。市町村会長を中心として、雇用、子どもの教育、くらしのこころ等、忙しく活動してはいますが、忙しいということはないと、話し合っております。今、会員云々、九州のも大阪府、兵庫県、北海道、広島県に続く会員数です。一方、全国の仲間と手を取り、守田会長を先頭に「わが幸せはわが手で」を合い言葉に、昭和三十九年母子寡婦福祉法、昭和四十四年寡婦福祉資金貸付制度、五十六年に

先口、川内市白寿園(特老)を訪問し、久方ぶりに手塚和子園長と語る機会があった。手塚さんは二十数年來の知人で、当時手塚さんはPTAの役員、私は婦人会の役員で、おたがいまだ若かった。女の一念、手塚さんは今や、特別老人ホームの立派な経営者である。不肖私は、多くの方々に支えられ、お陰で母子福祉の道をひたすら歩いて、ここまで来られた。でも、元気なうちはいいが、寝たきりなど体の衰えを迎える時、どんな心の準備をしたらよいか何時も考えていた。手塚さんは「こゝまで生きれば(六十六歳)取り越し苦労はいりませんよ。自分の人生の収穫を受け取るだけで結構。ポテもおむつ使用者になっても、ここにこゝろでありがとうと言えた方がいい。それから先のこととは、家族と福祉関係者が考えることです。そんなことより、今の元気がある間に、良い種子をいばい社会に播き、感動と笑いの日々を送ること。しらけた気持ちで生きる人は周囲に価値と興味を見出せない。周囲に価値と興味を見出さぬ御老人の姿を見ると、その人の過ぎ越し生きさまが、まざまざと分るが思いがします」と語られた。全国母子協評、守田厚子会長(九十三歳)は、県母連創立四十周年記念講演で「日は美しい物を、手は正しいことをいひ、手は人の好きなことばです。私は、子どもが好きなんです。いとしいんです。滋賀県では、今公的な場所が食堂二十ヶ所を運営し、二百人の母子家庭が働いております。鹿児島県は黒武者会長を中心に活動していらつしやいます。私はこの人を希望の星と思っております。皆さん、輝いて生きて行きましょう。死ぬまでです。」



山百合  
先口、川内市白寿園(特老)を訪問し、久方ぶりに手塚和子園長と語る機会があった。手塚さんは二十数年來の知人で、当時手塚さんはPTAの役員、私は婦人会の役員で、おたがいまだ若かった。女の一念、手塚さんは今や、特別老人ホームの立派な経営者である。不肖私は、多くの方々に支えられ、お陰で母子福祉の道をひたすら歩いて、ここまで来られた。でも、元気なうちはいいが、寝たきりなど体の衰えを迎える時、どんな心の準備をしたらよいか何時も考えていた。手塚さんは「こゝまで生きれば(六十六歳)取り越し苦労はいりませんよ。自分の人生の収穫を受け取るだけで結構。ポテもおむつ使用者になっても、ここにこゝろでありがとうと言えた方がいい。それから先のこととは、家族と福祉関係者が考えることです。そんなことより、今の元気がある間に、良い種子をいばい社会に播き、感動と笑いの日々を送ること。しらけた気持ちで生きる人は周囲に価値と興味を見出せない。周囲に価値と興味を見出さぬ御老人の姿を見ると、その人の過ぎ越し生きさまが、まざまざと分るが思いがします」と語られた。全国母子協評、守田厚子会長(九十三歳)は、県母連創立四十周年記念講演で「日は美しい物を、手は正しいことをいひ、手は人の好きなことばです。私は、子どもが好きなんです。いとしいんです。滋賀県では、今公的な場所が食堂二十ヶ所を運営し、二百人の母子家庭が働いております。鹿児島県は黒武者会長を中心に活動していらつしやいます。私はこの人を希望の星と思っております。皆さん、輝いて生きて行きましょう。死ぬまでです。」



四十年の寡婦の道程



入来町 寡婦 マツノ 長坂

七十年生きてはるかと思えても四十年は寡婦の道程

県母子寡婦福祉会の発足四十年 私が母子家庭になったのは昭和二十七年戦後ださ

その頃、県では未亡人の現金収入を得る為に、内職副業の講習会が始まりました

昭和四十四年頃でしょうか、入来町では母子福祉金を借りて、七人で畜産グループを作

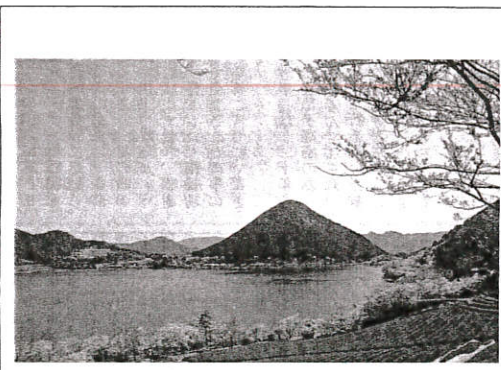
は日の暮れるまでというのが決まりました。二人の子供は小学生の頃から田の草

その後母子会の役員をしながら母子家庭で一番困った事は就労の事でした

長い四十年でしたが、当初から役員として母子福祉協力員も二十六年、その間、民生委員十二年勤めました

創立40周年記念作文コンクール 入選者名簿 (特選は除く)

Table with columns for category (小学生, 中学生, 高校生, 家庭), gender (母, 子, 庭), and list of names and locations.



宿泊・宴会・研修会議・レクリエーション等に安心してご利用できる公共の施設です。
※ 鹿児島県母子寡婦福祉連合会の宿泊利用券を利用下さい
◎ 展望温泉には露天・サウナ室完備です
全国ハイツ・いこいの村グループ
いこいの村 いむた池
鹿児島県薩摩郡祁答院町いむた
☎ 0996-56-0121

# アトラクション



始良地区 お米の一生



熊本地区 屋久島音頭



大島地区 八月踊り、六調



肝属地区 同期の桜



北薩地区 みちづれ



鹿児島、日置地区 ノラだつて金メダル

## 参加者の声

### 県母子会婦創立四十周年大会に参加して

東市来町社会福祉協議会 会長 大久保 信義  
全国協議会長 守田厚子氏の講演で、会長自身が口露戦争の遺児として、また今次大戦でも、主人と息子二人が戦死され、戦後の混乱期をあらゆる苦勞をされて組織を作り、母子会婦福祉の増進に献身的な努力をされ、九十二歳の高龄にもかかわらず、一時間余の間休む間もなく話しかけられた熱意と、最後のアトラクションに飛び出して、大島地区の六調の踊りに加わり、太鼓までたいて参加された元氣さには全く敬服しました。

### 熊本黒母会婦福祉連合会 理事長 清原 典子

貴母子会は、清原のあったかいお人柄と、ひたむきな活動により魅力ある組織づくりがされており、私共の範としているところです。その姿をまざまざと見せていただき本当にありがたいと思いました。

### 水俣市母子会婦福祉会 会長 平上 京子

本年は国際家族年にあたり、それぞれ立場の（子）ども、母子家庭の母（寡婦）作文発表は、まことに時期を得た素晴らしいご計画と感動しました。

### 知名町 泉 ヤエ

「羽ばたけ母子家庭、寡婦よ輝いて生きよう」のスローガンのもと、創立四十周年記念大会が、守田厚子先生をお迎えして、二月二十八日、鹿児島市民文化ホールで盛大に開催されました。

### 全国守田会長さんは、九十二歳の御高齢とは思えないお姿、お話しも四十年母子会一筋に御活躍、御尽力なされた事が見え分り、有難い事と思いました。南黒母会団体会長長の祝辞の中で「私達の見本になるすばらしい方」と、おっしゃいましたが、正にその通りだと思います。来賓の方々の素晴らしい祝辞も拝聴でき、今年も国際家族年であること、今年も国際家族年であることを知りました。小学生、中学生、高校生の作文発表は、自分の子育ての頃と重なって涙が出ました。母子会、寡婦の方々の発表では、母子会にける情熱に深く感銘しました。

### アトラクションは、大島の八月踊りを踊ることになり、初めての踊りで心配しましたが、一応間違わずに踊ることが出来ました。最後に黒武者理事長や守田会長と一緒に踊って楽しかったと思います。思い出が出来たと嬉しく思います。

## 編集後記

三寒四温の気候がいつまでも続くこの頃です。ことしはいつもでも風邪が流行っています。見玉さんは鼻声です。四十周年記念大会の余韻さめやらぬままに編集いたしました。いい大会だったと、皆さんにいわれ、そうだったと思っていますが、自問自答でしようか。守田会長の背すじのピンと伸びたお姿、張りのある、つややかなお声に励まされながら作りあげました。輝いて生きよう、ゴールまでですね。今も八月踊りの賑やかな太鼓の音が聞こえます。

編集者一同

## 母子家庭の児童扶養手当 18歳年度末までの支給決まる 平成7年4月実施

母子家庭の念願であった「児童扶養手当」が、18歳の年度末まで支給される事になり、平成7年4月より実施されることになった。なお、手当額の改善も行われて、平成6年10月から次の通り支給される事になる。

子ども1人の場合	全部支給 41,100円	一部支給 27,500円
子どもの加算額	第3子以降の児童1人当たり 3,000円	
所得制限限度額の引上げ (平成6年8月実施)	本人(2人世帯・年収) 393.2万円	

本県では、組織を挙げての取り組みの結果、50市町村では実施が決まっている。国で実施される来々3月まではこの50市町村では、市町村から支給される。